

イベント情報・取材案内

立命館アジア太平洋大学
2017年12月8日 配信 APUリリース 2017-45

Shape your world
APU
Ritsumeikan
Asia Pacific University

シリア難民キャンプの展示「旅する千羽鶴」

12月14日(木)～20日(水)

APUパシフィック・カフェ

シリア周辺国のシリア難民キャンプで働くJICA青年海外協力隊が、キャンプ内の子どもたちや同僚のシリア人スタッフと一緒に、今回の「平和の展示」をつくりました。キャンプの子どもたちのつくった千羽鶴や描いた絵、またシリアの内戦前の写真やキャンプの写真を展示します。

「旅する千羽鶴 — 見る、伝える、つながる、描く、シリア。 — 」

開催日時： 12月14日(木) - 20日(水) 12:00 - 17:00 (土日除く)

場 所： 立命館アジア太平洋大学 パシフィック・カフェ (E棟1階)

入 場 料： 無料

対 象： 本学学生、一般の方々。ご興味のある方は、どなたでもご参加いただけます。

主 催： シリア周辺国のシリア難民キャンプで働くJICA青年海外協力隊

運 営： 立命館アジア太平洋大学 ボランティアサークル「Peace x Piece」

2016年から開始し、2回目の取り組みとなる今回は、展示内容・展示会場を拡大し、日本を横断しています。福島から始まり、最終地は長崎市立図書館を予定しています。大分ではAPUのみでの開催です。

主催者は、「本展示をきっかけに、皆様が平和な未来について想像してくださることを願っています」とコメントしています。

多くの方のご来場をお待ちしています。



シリアの子ども達による
千羽鶴とイラスト「シリアの未来」



ألف تمورو مسافر طيور السلام

【取材お申込み】 学長室(広報)担当：加藤、宮腰

〒874-8577 大分県別府市十文字原1-1 Tel: 0977-78-1114 携帯：090-5473-3803

ウェブサイト：<http://www.apu.ac.jp> Email：r-apu@apu.ac.jp

フェイスブック：<https://www.facebook.com/RitsumeikanAsiaPacificUniversity/>

旅する千羽鶴

マルハバン！（アラビア語で「こんにちは」。）

シリア周辺国のシリア難民キャンプで働くJICA青年海外協力隊です。キャンプ内の子ども達や同僚のシリア人スタッフと一緒に「旅する千羽鶴」という名の「平和の展示」をつくりました。

2017年秋～冬、子ども達やスタッフの想いをのせたこの「旅する千羽鶴」がキャンプを飛び出し、日本をめぐる予定です。今を生きるシリア難民のリアルな声を一緒に感じてみませんか？



ألف تمورو مسافر طيور السلام

旅する千羽鶴
Shiriaten

見る、伝える、
つながる、描く、
シリア。

〔展示内容〕

シリアの子ども達による
千羽鶴とイラスト「シリアの未来」



シリア人と日本人による
シリア写真展と平和のメッセージ



* 展示内容は各展示先のスペースによって若干の変動があります。

〔日程〕

2017.9～2018.1

●最終地、長崎では平和公園に
子ども達の千羽鶴を奉納します。

〔開催予定地〕

福島→東京→名古屋→広島→豊島→大分→長崎
(瀬戸内)



※会場・巡回スケジュールは、シリア支援団体
『サダーカ』さんのFBに随時掲載しています！

企画協力

- ・シリア支援団体『サダーカ』さん HP: <http://www.sadaqasyria.jp/> FB: <https://www.facebook.com/sadaqasyria.jp/>
- ・『みんなで作るシリア展』さん FB: <https://www.facebook.com/shiriaten/>

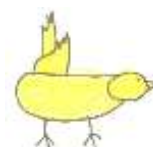
あるシリア難民キャンプでシリア人と
日本人が共につくった「平和の展示」が、
長崎目指して日本横断中！



「シリア」「難民」「キャンプ」から届いたこの平和の展示に、 あなたは何を感じ、どんな未来を思い描きますか？

シリア。

そこには、普通の穏やかな暮らしがありました。
人々は、ピカピカな夢やささやかな夢を持って暮らしていました。
それは、ある時を境に巨大な力で破壊されていきました。
人々は、故郷や祖国を追われました。
人々は、泣いたり笑ったりしながら今を生きています。



シリアってどこ？ シリア難民って？



正式名称シリア・アラブ共和国。北にトルコ、東にイラク、南にヨルダン、西にレバノンと国境を接し、北西は地中海に面しています。首都はダマスカスです。「海も川も草原もあるとても美しい国だったんだよ」と、同僚のシリア人スタッフ達は、いつもみな口を揃えて話してくれます。

シリア難民とは2011年からシリアで続いている内戦を背景に、国内や国外へ避難した人達のことです。2017年の最新の発表では、シリア国外へ避難した人達は約500万人以上と発表されました。これは2012年当時の総人口の4分の1程に当たります。JICAはこの秋から文部科学省と共にシリア近隣国で避難生活を送っていたシリア人学生を、留学生として日本に受け入れるプログラムを開始しました。

見る、伝える。



シリアにゆかりのある日本の人達から寄せられた内戦前のシリアの写真や平和のメッセージを見ながら、シリア人スタッフが、普段は心の中にしまっている平和への想いを伝えてくれました。みんな写真を見ると過去の記憶が

蘇るようで、ブワーっ思い出を喋り出したり、ぼろぼろと涙をこぼしたりしていました。一緒に同じ写真を見ることで、改めてお互いの気持ちを伝えあうことができました。

描く。

子ども達は、自分達の折った鶴に将来の夢を描きながら、千羽鶴をつくりました。そして、イラスト「シリアの未来」を描きました。シリア人スタッフは、キャンプ内の展示会初日に、この展示作成を通して感じたシリアの未来について、子ども達に語ってくれました。「内戦が終わったら、みなで協力してもう一度美しい祖国を創ろう」力強い言葉でした。



つながる。

8月、キャンプ内で出来上がった「旅する千羽鶴」のお披露目展示会を行いました。内戦前と現在のシリアの写真と一緒に広島島の原爆投下直後の写真と現在の復興した街の様子をおさめた写真も飾りました。シリア人スタッフは、それら写真をととても熱心に見つめていました。「この2枚の写真

を絶対、忘れない」力強くそう言ってくれたスタッフもいました。今の戦争と過去の戦争が、シリアと日本がつながった瞬間でした。

子どもも大人も、自分達の展示が無事に長崎まで届くかみんなドキドキワクワク！

あなたも是非一緒に、この旅路のストーリーを紡ぎませんか？



シリア支援団体『サダーカ』さんのFB:<https://www.facebook.com/sadaqasyria.jp/>に
会場・巡回スケジュールなど鶴の旅路の詳細を随時掲載しています！